

(左下から右上へ) 温増と弁慶の像、弁慶まつり、鬮鷄神社参道入り口



世界遺産になった鬮鷄神社(田辺市) 絵と文・熱田親憲 題字・熱田秦華

熊野古道

みづくくき記

48

世界文化遺産の「紀」に、中辺路の四つの峠、伊山地の霊場と参詣 大辺路の三つの坂など道〔2004年登録〕と共に鬮鷄神社(田辺 光ポランテイアガイド

市湊)が昨年10月、追加登録された。紀伊田辺駅で下車し、再度訪ねた。

鬮鷄神社はこれまで「弁慶まつり」の起点としての印象が強かった。3年ほど前、田辺観

の会代表だった故畑上孫・温快が熊野別当の精神性も興味深い。していたにも関わらず、先達たちの強い指しで潮垢離をとった」

勝運の神様としての信仰も

り歩く、ストリートダンスだった。そのあふれるエネルギーを観光客ももらい、興奮のひと時を過ごした。夕刻は地元の人たちによる「ゲタ踊り」があり、「踊り一色」の祭りという印象が強かった。

今回の訪問で鬮鷄神社の印象は変わった。当初、田辺宮と称された神社は三十六歌仙の一人、藤原実方の子